

授業番号	A3B1050201	キャンパス	稲毛キャンパス		
科目名(英語表記)	航空物流論(Airline logistics)				
担当教員(英語表記)	根本 敏則(Toshinori Nemoto)	履修開始学年	3	単位数	2
開講学期	2019年度 前期	開講曜日	火曜5限		

授業のねらいと到達目標 (DP,CPIにおける位置づけを含め)	経済のグローバル化により、ひとつの製品の生産工程を国をまたがって分業する国際水平分業がさらに進展している。その中で、高付加価値製品は空運により輸送されており、今後とも輸送量は増えると予測されている。 本講義では、国際水平分業を支えるグローバル・ロジスティクスの考え方とその仕組みを理解することをねらいとする。授業では、国際的に活躍できる能力を身につけるため、航空物流における専門知識の習得を到達目標とする。
授業の進め方(履修条件、試験やレポートなど課題のフィードバック方法を含め)	1. 授業の始めに前回講義内容に関する小テストを実施。 2. 各回のテーマに沿った資料を配布し、同資料に沿って解説。
アクティブ・ラーニングの手法	
成績評価方法と割合	期末テスト(50%)および小テスト(50%)

《評価基準》

評価	判定基準
秀(S)	グローバル・ロジスティクスの考え方とその仕組みを正しく説明できる。
優(A)	グローバル・ロジスティクスの考え方を正しく説明できる。
良(B)	航空貨物の輸出入手続きを正しく説明できる。
可(C)	航空貨物の輸出入手続きを概ね説明できる。
不可	航空貨物の輸出入手続きを説明できない。

授業の予習・復習(1授業に必要とする事前事後学習の内容と時間数を含め)	各回のトピックに関し予習すること。(60分) また講義資料を読み返し復習し(120分)、次回の小テストに備えること。
教科書	毎回、資料を配布。
参考文献	1. 斉藤他(2009)『現代ロジスティクス論』中央経済社 2. P.A.David(2013)『International Logistics』Cicero Books

回数	授業項目	授業内容
第1回	物流概念	物流、ロジスティクス、サプライチェーン・マネジメントの定義
第2回	ロジスティクス・マネジメント	コスト・サービスのトレードオフ関係、ロジスティクスKPI、物流コスト管理
第3回	物流基礎理論(1)	最適在庫量(最適発注量)
第4回	物流基礎理論(2)	安全在庫
第5回	物流基礎理論(3)	最適輸送経路
第6回	グローバル・ロジスティクス	国際水平分業理論、ロジスティクスとの相互関係
第7回	国際貿易ルール	インコタームズと決済方法
第8回	空運・海運キャリア	世界の航空会社(インテグレート含)と海運会社
第9回	空運・海運フォワーダー	世界の航空・海運フォワーダー
第10回	空運・海運インフラ	空港・港湾、輸送機材
第11回	空運・海運規制制度	オープンスカイ、環境規制
第12回	空運・海運セキュリティ	FTA・EPAと通関制度標準化
第13回	国際インターモーダル輸送	国際ランドブリッジ、シーアンドエア

第14回	国際ネット通販のロジスティクス	国際ネット通販の仕組み、空運と海運の使い分け
第15回	まとめと試験	第1回から第14回までの授業の振り返り、確認試験及びその解説

《教職に関する情報》			
免許状取得のための科目区分(必修/選択)		担当形態	
科目			
施行規則に定める科目区分又は事項等			